

崇城大 IoT・AI拠点

オープン記念イベント



イベントであいさつする熊本市
の大西一史市長—25日、熊本市

のオープン記念イベントを開いた。

同センターは、最先端のIoT（モノのインターネット）、AI（人工知能）の関連機器を設置。デジタルトランスフォーメーション（DX）の流れが加速するなか、最先端技術を使って地域の活性化に貢献する人材の育成とともに、熊本発のイノベーション創発のハブ（拠点）機能が期待されている。

イベントには、大西一史・熊本市長が出席し、同センターと連携協定を締結し

た早稲田大学の北川正恭・名誉教授（元三重県知事）らがオンラインで参加した。冒頭、中山峰男・崇城大学長が「時代が大きく変革するとき、価値観が大きく変わるとき、そのエンジンは常に若者が担ってき た。センターが未来社会に貢献できる人材の育成の場となるようにしたい」とあいさつ。

続いて、大西市長が「（コロナ禍の）今の逆境を乗り越えていくために活躍してほしいのは若い世代。若者がこのIoT・AIセンターから起こすイノベーションに、また地域をより良いものにし、熊本を牽引していくことに期待している」と述べた。

イベントでは北川氏による講演のほか、「DX時代の地域イノベーション」をテーマにしたパネルディスカッションが、大西市長らに参加して行われた。

崇城大学（熊本市）は25日、同学内に昨年開設した「IoT・AIセンター」